

ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ

核兵器禁止条約への日本政府の参加を求めて

2024 年 7 月 27 日[土] 13:00~16:00 静岡大学静岡キャンパス内(静岡市)
会場 & オンライン ハイブリッド開催 (zoom)

1954 年 3 月、太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験により、焼津のマグロ漁船・第五福竜丸をはじめとした漁船と多くの人々が被爆してから今年で 70 年。今年の原水爆禁止 2024 年世界大会 科学者集会では、第五福竜丸のビキニ被災の実相を確認するとともに、原水爆禁止運動の当面の課題である「核兵器禁止条約への日本政府の参加」を実現する道を探っていきたいと思います。

【動画放映】

焼津市歴史民俗資料館「第五福竜丸被災 70 年特別展」を訪れて
～静岡大学生 2 人が学芸員とともに第五福竜丸被災について学ぶ～

【講演1】

ビキニ水爆実験被災の現代的意味と課題
～隠され続けるグローバルヒバクシャ/隠され続ける核被災文書～

高橋 博子 (奈良大学文学部教授)

【講演2】

ビキニで被災した漁船員被害の広がりとその後の調査

間間 元 (静岡県保険医協会/生協きたはま診療所)

【講演3】

ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ ～非核日本キャンペーンの意義～

木藤 功 (原水爆禁止静岡県協議会理事長)

【総合討論】

核兵器禁止条約への日本政府の参加を求める

※発表・報告希望の方はあらかじめメールにてお申し込みください。

●参加申し込み

下記 URL か QR コードからお申し込み下さい。
オンライン参加の方には後ほど zoom のリンク等をお知らせします。

<https://qr.paps.jp/IZAq>

